Appendix

FES ファミリーエンパワメントスケール日本語版　（涌水ら、2010）

次のこと（1～34のしつもん）は　あなたにとってどの程度、該当しますか？
サービスとはたとえば、行政や福祉のサービス・保育所や学校のサービス・育児支援や託児のサービス等の総称です.

	まったく該当しない	あまり該当しない	たまに該当する	よく該当する	ほとんどいつも該当する	*対応する下位尺度*
1．わが子が受ける全てのサービスを、親として認める権利があると感じている。	1	2	3	4	5	SS
2．わが子に問題が生じるとき、それらをうまく処理できている。	1	2	3	4	5	FA
3．地域社会で、子どもたちのためのサービスを改善するのに、自分は何らかの役割を担えると思う。	1	2	3	4	5	SP
4．わが子が育ち、成長するのを助けることに自信がある。	1	2	3	4	5	FA
5．わが子が十分なサービスを受けられていない時、取るべきス テップを知っている。	1	2	3	4	5	SS
6．わが子に必要なサービスに関する親としての意見を、専門職者[注1)]は理解していると思う。	1	2	3	4	5	SS
7．わが子に問題が生じたとき、何をすべきかを知っている。	1	2	3	4	5	FA
8．子どもたちに関する重要な法案や問題が放っておかれているとき、（市区町村の）行政にたずさわる議員に接触することがある。	1	2	3	4	5	SP
9．家庭生活は自分の思うようになっていると感じている。	1	2	3	4	5	FA
10．子どもたちのためのサービス体制が、どのように組織されているかを理解している。	1	2	3	4	5	SP
11．わが子に必要なサービスについて、よい決定ができている。	1	2	3	4	5	SS
12．わが子なサービスを決定するために、サービスを提供する専 門職者[注1)]や機関[注2)]と協働することができている。	1	2	3	4	5	SS
13．わが子に関わる専門職者[注1)]と定期的な接触を取っていると思う。	1	2	3	4	5	SS
14．地域社会で生活する子どもたちのための理想的なサービス 体制について、アイデアを持っている。	1	2	3	4	5	SP
15．地域社会で生活する他の家族が必要とするサービスを得ら れるよう、自分なりに援助している。	1	2	3	4	5	SP

１６．わが子をよりよく理解するための情報を得ることができている。	1	2	3	4	5	FA
１７．（自分も含め）親は、子どもたちのためのサービスに影響力を持っていると思う。	1	2	3	4	5	SP
１８．わが子に必要なサービスを決定する際、専門職者[注1)]の意見と同様に親の意見も重要である。	1	2	3	4	5	SS
１９．わが子が受けているサービスについて、自分の考えを、専門職者[注1)]に伝えている。	1	2	3	4	5	SS
２０．地域社会で生活する子どもたちのためのサービスをどうしたら改善できるかについて、（市区町村の）行政にたずさわる議員や職員に話をする機会がある。	1	2	3	4	5	SP
２１．わが子に問題が生じたとき、それらを解決可能だと考えている。	1	2	3	4	5	FA
２２．（市区町村の）行政にたずさわる議員や職員に、自分の話を聞いてもらう方法を知っている。	1	2	3	4	5	SP
２３．わが子にとって必要なサービスは何かを知っている。	1	2	3	4	5	SS
２４．学校教育法のなかで、「特別支援教育」のもとでの親や子どもたちの権利がどのようなものであるか知っている。	1	2	3	4	5	SP
２５．親としての知識や経験は、地域社会で生活する子どもや家族のサービスを改善するために使えると思う。	1	2	3	4	5	SP
２６．自分たち家族の問題に助けが必要なとき、他人に助けを求めることができている。	1	2	3	4	5	FA
２７．わが子が育ち、成長するのに役立つ新たな方法を学ぶために、努力している。	1	2	3	4	5	FA
２８．わが子や自分たち家族のためのサービスを探す際、必要時は、自分が主導権を握っている。	1	2	3	4	5	SS
２９．わが子と接するとき、発達上の問題や課題だけではなく良い面にも目を向けている。	1	2	3	4	5	FA
３０．わが子にかかわるサービス体制をよく理解している。	1	2	3	4	5	SS
３１．わが子が問題に直面したとき、親として何をすべきかを決め、それを実行している。	1	2	3	4	5	FA
３２．専門職者[注1)]は、親が子どものためにどのようなサービスを求めているかを尋ねるべきだ。	1	2	3	4	5	SS

３３．自分はわが子の発達上の問題や課題をよく理解している。	1	2	3	4	5	FA
３４．自分は良い親であると感じている。	1	2	3	4	5	FA

注 *1*）医療関係者、教育関係者、福祉関係者、及び、保健センター等の担当者…等 注 *2*）福祉センター、保健センター、（療育・発達）支援センター…等

採点方法：以下の３つの下位尺度ごとに総点を算出する。エンパワメントの高さは総点の高さに比例する。

「家族内（FA）」 １２項目
「サービスシステム（SS）」 １２項目
「社会/政治（SP）」 １０項目

参考文献：涌水 理恵、藤岡 寛、古谷 佳由理、宮本 信也、家島 厚、米山 明：障害児を養育する家族のエンパワメント測定尺度 Family Empowerment Scale （ FES ）日本語版の開発、厚生の指標、第 11 巻、*pp*33-41 、 2010